

# 千葉動力車



## いすみ

### 支部大会



## 田中新支部長へ

十一月二二日、いすみ支部第八回定期大会が、「民宿たちばな」において開催された。

大会は中村副支部長の司会で開かれ、冒頭あいさつにたった沢支部長は、「この一年、動力千葉結成十五周年を迎えて、『全国にはばたこう』を合言葉に、その一貫として、勝浦支部と共催で夷隅地域集会を開催した。集会には、地区労の仲間もかけつけてくれて、成功することができた。また、三



月には貨物支部の仲間を先頭に春闘第一波ストを打ちぬいた。今、

十二月ダイ改を前にしているが、千葉支社は、ローカル線を削減し、勝浦・館山に要員削減の攻撃がかけられている。さらに、社会党がこれまでの方針を覆す状況のなかで、動力千葉は、水野、中江両氏をおしたてて来年の市議選を闘う方針を決定している。とくに、夷隅支部は、地元支部として、水野さんの必勝に向けて全力で取り組みを行ないたい」と提起。

続いて、山口書記長から、経過報告と運動方針案の提案を受けたのち討議が行なわれ、満場一致で運動方針を採択。田中新支部長をはじめ、九四年度新役員が次のとおり選出された。

### 一九九四年度新役員

支部長	田中 広 胖
副支部長兼 乗務員会長	五十嵐 浩 吉
書記長	君塚 時 雄

## 島野新支部長

（出）

十一月二三日に開催された木更津支部第十七回定期大会では、執行部より提起された方針案にもとづき、活発な議論が行なわれた。だされた主な質疑は次のとおり。  
● 本社主催の運転競技会に木更津からひとり出すよう指示が来たが、これまでの経緯も無視して強制的に出されている。こんなやり方はおかしい。



● 五五歳出向と言うが、出向先が示されるのもギリギリで、いやなら辞めるといふ対応が行なわれており、不安に思う。出向先の労働条件も泊り明けの日に、そのまま日勤で夕方まで超勤を指示されたりしている。  
● ダイ改のたびにローカル線が切り捨てられているが、東京湾横断道路などが開通した時点で、より大きな問題が起きてくるのではないか。久留里線の展望がどうなるのか。  
● 十二月ダイ改闘争について、ストライキ等はどう考えているのか。

● 清算事業団の問題について国労は政労使交渉にのめり込んでいるが、このような状況との関係で、動力千葉としては、どのような闘いを進めるのか。  
● 地方統一選挙について、社会党から二人の立候補が予定されており、地区労で割り振りが行なわれると思うが、どう対応しただらいいのか。  
● 予科生や強制配転者の運転士登用の展望はどうか。  
● 四く五月に行なわれた転換教育について、どのような経過で行なわれることになったのか聞きたい。  
● ECを希望する者がいた場合、転換教育はできないのか  
● 馬来田駅の無人化が実施されようとしているが、提案時点で、様々な問題点を指摘したら、支社の側が回答できなくなつて一度延期し、今回も具体的な内容は全く現場にきていないなど、全くズサンなやり方だ。支社は一体どうなっているのか。  
● 久留里線の一括工事の後、線路を交換した箇所が空転して列車が上がらないことがあった。また、ポルトが締めていないままの箇所もあった。本来は試験を行なうべきではないのか。  
● 下郡駅(無人駅)で車椅子で利用する人がおり、地区指導七

ンターが対応することになっていないが、来ない日があった。運転士と車掌で降ろそうとしたが重くてびくともしなかった。  
● 気動車を冷房化してほしい。  
大会は、運動方針を満場一致で採択した後、次のおり新執行体制を確立。島野新支部長の音頭で団結カンパニーを三唱し、大成功のうちに終了した。

### 一九九四年度新役員

支部長	島野 三 喜 雄
副支部長	佐久間 英 雄
書記長	多田 敬 治 郎
執行委員	鈴木 博 之 嶋田 喜 彦 鈴木 敏 夫 山中 茂 男

## 12.3ダイ改合理化粉碎！ 動力千葉総決起集会

2月2日18時、千葉市文化センター